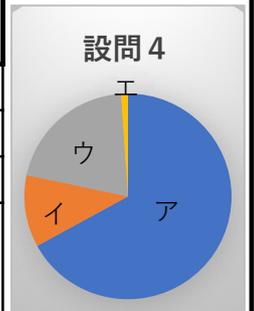


2. 施設利用券等の廃止についてのアンケート（事業所様向け）

設問1 施設利用券を「施設利用券廃止に伴う代替え(案)」のように変更することについて、お聞かせください。	回答	割合
ア. 賛成 ⇒設問②へ	63	0.65
イ. 反対 ⇒設問③へ	10	0.10
ウ. どちらとも言えない。(分からない) ⇒設問④へ	24	0.25
エ. その他 ⇒設問④へ ・施設利用券の枚数を減らして、お食事補助券（枚数か金額）を増やす ・デジタルクーポン対応が良いと思う	2	0.02
設問2 賛成の理由をお聞かせください。	回答	割合
ア. 利用率が低く経費（印刷費）の削減になる。	48	0.73
イ. 回数券や利用券の斡旋に変えることで大きなサービスの低下はない。	17	0.26
ウ. その他 ・券を持ち歩かなくて良くなる ・利用券の割引にあまり魅力を感じない ・ランチ補助券の補助額を増加することが可能でしたら、増額も視野に入れて頂けたらうれしいです。	3	0.05
設問3 反対の理由をお聞かせください。	回答	割合
ア. 都合のいいときに何時でも使うことができなくなる。	9	0.82
イ. 申し込みに手間が掛かる。	1	0.09
ウ. その他 ・よく利用している	1	0.09
設問4 お食事補助券をデジタルクーポンとすることについて、ご意見をお聞かせください。 ※デジタルクーポン：利用店舗でスマートフォンのクーポンを提示することで、割引サービスが受けられる仕組み。	回答	割合
ア. 賛成 ⇒設問⑤⑦へ	65	0.68
イ. 反対 ⇒設問⑥⑦へ	11	0.12
ウ. どちらとも言えない。(分からない) ⇒設問⑦へ	20	0.21
エ. その他 ⇒設問⑦へ ・当社従業員の大半が醍醐荘で利用しているが、出前(店屋物)で利用しているため、今後も継続して利用できるのであれば、デジタルクーポンでもよいと思います。	1	0.01
設問5 賛成の理由をお聞かせください。	回答	割合
ア. お食事補助券を忘れてもスマートフォンがあれば利用できる。	52	0.68
イ. 年度当初にもらったものを紛失することがなくなる。	7	0.09
ウ. 利用率が低く経費がもったいない。	18	0.24
エ. その他 ・ランチ補助券の補助額を増加することが可能でしたら、増額も視野に入れて頂けたらうれしいです。	1	0.01
設問6 反対の理由をお聞かせください。	回答	割合
ア. スマートフォンを持っていない従業員が利用できない。	5	0.31
イ. スマートフォンの利用が苦手な従業員がいる。	8	0.50
ウ. 何でもデジタル化することには反対	2	0.13
その他 ・皆で出前を頼んだときに使えない（代表者が一人で取りに行くので）	1	0.06



設問7 施設利用券の廃止やお食事補助券をデジタルクーポンへ変更することについて、ご意見等自由にご記入ください。

区分

- ・一度も利用できていなくて、期限切れで気づき、残念に思っていました、デジタルになれば忘れずに済みそうです
- ・日にちを決めて食事に行くことを楽しみにしているので、補助券があるとありがたいです。クーポンをデジタルにすることも賛成です。（施設利用券は使用したことはありません。）
- ・持ち歩くことがなくなり、忘れてしようできなかつたりすることがなくなるから良いと思う
- ・デジタル化が進むことで苦手な方が多いと思いますが、少しでも経費を抑え、とらいあんぐる職員の皆様の負担を軽くできればいいと感じております
- ・デジタルクーポンにすることで、持ち運びが不要となり利用しやすくなると思いますデジタルにすることにより、対象店舗が増えたら利用者にとってはとてもうれしいことだと思います。
- ・平日は夕方まで仕事があり利用している時間がない。紙はもったいないと感じます
- ・デジタルにしてもらった方が、会社も配布の手間がなく助かります
- ・利用率が低すぎて驚きました。経費削減や事務負担の軽減に賛成です
- ・紙を持っていく手間が省けるので助かる
- ・利用率の低さにびっくり！苦手とか言っていないでデジタルクーポンにするしかないですね
- ・券を持ち歩かないのでデジタル化大賛成
- ・施設利用券は人によって利用券を使うところがちがうので、今使えるところを割引で使用できるなら反対する人はいないと思う
- ・従業員に施設利用券やランチ補助券の利用をすすめても、デジタルクーポンに変更しても、利用しない人はしないと思うので、経費削減でき事務負担も軽減できるデジタルクーポンへ移行でよいと思います。
- ・施設利用券、お食事補助券、デジタルクーポンは賛成です。施設利用券は廃止の方向で良いと考えます。
- ・事務負担節減のため

賛成意見

- ・家族が利用する場合、会員と一緒に利用するとは限らないから
- ・できれば今のままで良い。ランチ券に限り
- ・半年に一度、お食事補助券を利用して社員全員で昼食会を行っています。社員から補助券を集めまとめて会計の際に提出すればよかったものが、デジタルクーポンになると簡単に決済ができなくなりますので、お食事補助券はあった方がいいです。⇒現在、導入を検討しているアプリでは、手間は掛かりますが、お店に行かなくても事前に各自でスマホにより決裁することが可能です。

反対意見

- ・対応できない人への対応
- ・スマートフォンの利用が苦手な方にも使いやすいものならデジタルクーポンは良いと思う。たしかに補助券は常に持ち歩いていないので、スマホに入っていれば使用機会は増えると思う。個人的にはありがたいと思う。
- ・食事券についてガラケーの人やスマートフォンを持っていない人への対応はどうすれば良いか？という所の課題がクリアできれば、是非、進めていただきたいです。
- ・ほとんどの会員がスマートフォンを利用していると思われる。経費節減には賛成です。アンケートをとり、紙のクーポンが必要な人には紙クーポンを配布したらどうでしょうか。
- ・賛成ではありますが、スマホの扱いに慣れていない方、スマホを持っていない方への対応があると良いと考えます
- ・デジタルを使いこなせない人は利用できない
- ・Web難民には厳しそう
- ・回答者本人は賛成です。ですが、社内の補助券、利用券の利用率を把握している訳でもなく、高齢の社員もいるため賛成もできかねるといったところです。Web申込みについても特に苦情もないので恐らく今回の変更も問題ないのではと考えています
- ・操作できないので自分としては利用できなくなるが、時代がそうであれば、仕方ないと思う
- ・半数は年配の方なので、スマホで提示することが難しい人もいて、100%賛成とは言えない状況です。あと、スマホにすると家族が使いにくいという意見もありました。
- ・デジタル弱者のための紙の利用券とデジタルクーポン両方使えるのが一番良いと思います

スマホ操作への不安・心配

- ・私の事業所では、とらいあんぐる磐田の会員になる理由の一つとして、食事補助や施設利用券があることは大きな条件です。食事補助券はデジタルクーポン化へは賛成です。施設利用券の廃止は実際に使わせて頂いているので、廃止は困るのが現状です。印刷経費の削減は凄く大事だと思うので賛成です。アンケートの内容にもありますが、施設の回数券や利用券の販売では無くても、それも、1人の会員が1年間に利用出来る枚数が決められている形がよいのではないかと考えます。とらいあんぐる磐田のホームページより、必要な方は会員番号を記入して、ダウンロードや個々で印刷してもらう形で残して貰いたいと考えます。食事補助券も施設利用券も必要な方は個々でアクセスするのが宜しいかと。宜しくお願い致します。
- ・本人以外の家族でもいっしょに使用したいと思っている人がいる。その場合は、全員スマートフォンにアプリをダウンロードして良いのか⇒直ぐに施設利用券をデジタル化することは考えていませんが、導入を予定しているアプリでは家族で共有することはできません。まずはお食事補助券について導入を考えていきます。
- ・従業員にデジタルクーポンのやり方、使い方等質問を受けたときに明確に伝えられるようにしてほしい
- ・全員が持っている会員カードで使えるようにするとか・・・

ご要望など

- ・施設利用券より他の会社の割引率が高い。割引しているお店などわかりにくい。申込みのチケット類などを取りに行く時間指定をなくしてほしい。営業時間内ならo kにしてほしい。⇒3月号の申込み分から17時まで対応させていただきます
- ・年間で通して使用できる様に少なくとも1,000円で使えるようにしてほしいです
- ・こちらもセキュリティへの対応が大切ですね
- ・行こうと思っても持っていないことがあって行くのをやめたことがあります
- ・事業所としてどれだけの方が利用しているか分からないので、なんとも言えない

ご要望など